

2024～2025 参加者へのアンケート調査 結果

【要約】

約 120 名の参加者の方に、「いばしょ」利用に関するアンケート調査を実施しました。またこの調査に加え、はがきアンケートにより 1,700 名の利用者の声を収集することも行いました（「利用者へのはがきアンケート調査 結果」をご参照ください）。アンケートにご協力して頂いた利用者の皆様、本当にありがとうございました。当報告書はその結果をまとめたものです。

「いばしょ」の特性は多様性にあります（「運営者へのアンケート調査 結果」をご参照ください）。

またその「いばしょ」の利用者も一人ひとり異なる背景・事情があります。今回のアンケート調査で明らかになったことは、そのような多様な支援環境の世界の中で、利用者のほとんどが「いばしょ」は自分にとってとても必要なものと回答していることです。これは「いばしょ」の「共通的な価値」が提供され続けていることを示しています。その「共通的な価値」とは、やはり「多様な人とのつながり」ではないでしょうか。

① 「いばしょ」を知ったきっかけ

「いばしょ」の利用者は、人から人への直接的なつながりで増えていくことが最も多いというのが実態です。運営者へのアンケートでも多く出ているのが、人とのつながりが増えること自体が、「いばしょ」の価値であり、本質ということです。したがって、初めての利用者が最初に「いばしょ」を知るきっかけも、「人とのつながり」であることがとても大切だと考えています。

② 「いばしょ」にきている期間

1 年以上の利用者が 7 割弱を占めています。運営者へのアンケートでも多く出ていますが、運営者が利用者に寄り添った相談役になることにより、利用者は徐々に心を開き、繰り返し利用するようになるというものです。「いばしょ」というものの持続可能性が重要な背景です。

③ 利用者の気持ち

やはり半数強の利用者が食料支援に対する喜びを素直に感じています。食料支援が重要な「つながりの支援ツール」であることが本質です。そのためにも「いばしょ」ネットワーク全体としての食料支援活動が、「いばしょ」運営の基礎を支えることになると考えています。

利用者の反応は良いことばかりではありません。「参加していいのかわからない」という回答が 5 割弱あります。「いばしょ」運営者はそのような利用者に寄り添い、不安を徐々に取り除いてあげていくことを日々実践しています。そのことが、本当に支援が必要な利用者を持続的に支援していくために、とても大切な基礎ではないでしょうか。

ほとんどの「いばしょ」の利用者は 2 回以上の利用になっています。あらゆる利用者にとって、「また行きたい」と思える場所であることが、「いばしょ」の本質ではないでしょうか。利用者が「また行きたい」と思う理由はさまざま、一人ひとり違います。共通的に言えることは、単に「食事ができるから」というだけではなく、自分を受け入れてくれ、話をしてくれ、認めてくれる人との出会いの場所ということです。「いばしょ」が「いばしょ」たる大切な要素です。

④ 利用者の心の変化

利用者の半数が「楽しいと思えることが増えた」と答えています。やはり「いばしょ」へ来る多くの利用者は、何らかの心の問題を抱えながら「いばしょ」へ来ているということを物語っているのではないのでしょうか。しかも利用者の心の状態や不安は一人ひとり違います。そのような利用者の一人ひとりに寄り添った「いばしょ」での人との出会いが、利用者の心を前向きに変えていけることの証ではないのでしょうか。

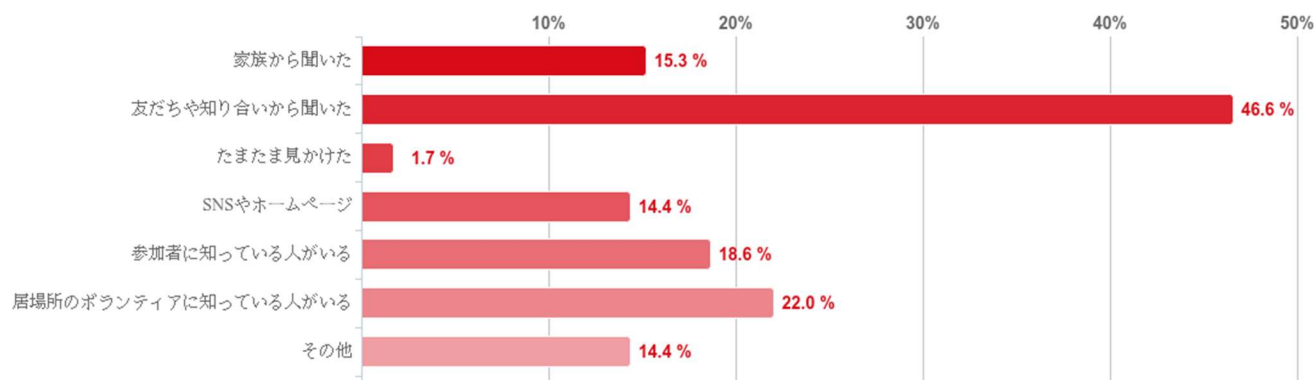
⑤ 利用者にとっての相談相手の必要性

困った時に相談できる人がいないと答えた利用者が1割弱います。これを多いとみるか、少ないとみるかはさまざまですが、相談をできる人がいなくて悩んでいる利用者が、「いばしょ」へ来ているというのも事実です。各「いばしょ」では、そのような利用者に「気がつき」、「話を聞いてあげ」、「寄り添ってあげる」という人が、そこにいる場所ということではないのでしょうか。

⑥ 利用者にとっての「いばしょ」の必要性

ほぼ全ての利用者が、自分にとって「いばしょ」は「必要な場所」、「あったほうが良い場所」と答えています。「いばしょ」の多様性と利用者の「個別事情性」のマッチングの中で、これだけの利用者がポジティブな回答をしているということは、「いばしょ」の「共通的な価値」が提供されつづけているからだと思います。その「共通的な価値」とは、やはり「多様な人とのつながり」ではないのでしょうか。

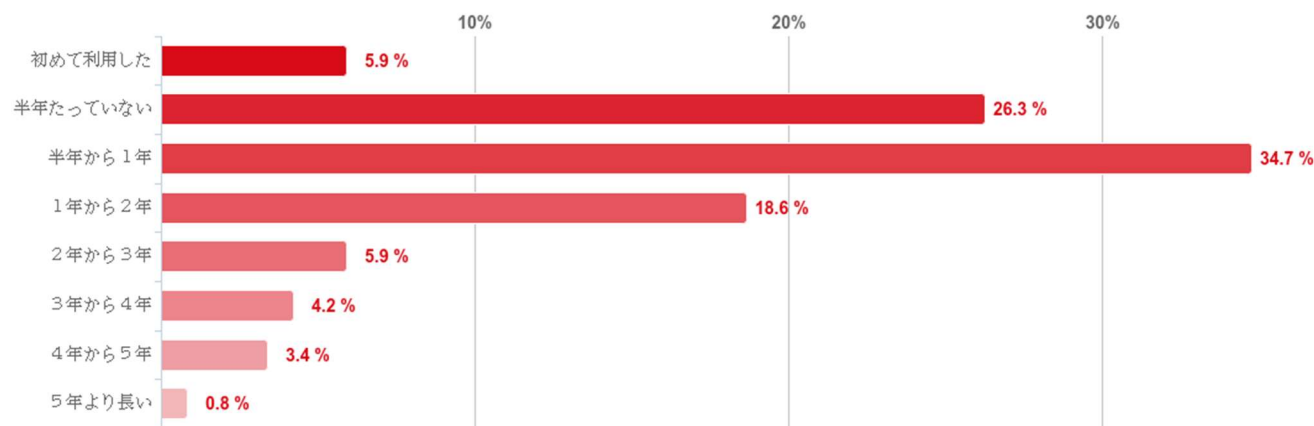
Q2)利用している居場所をどのように知りましたか？(回答数:118)



「いばしょ」の利用者は、人から人への直接的なつながりで増えていくことが最も多いというのが実態です。この質問からも47%の利用者は、「友だちや知り合いから聞いた」と回答しています。また次に多いのが、「ボランティアに知っている人がいる」(22%)、「参加者に知っている人がいる」(19%)になっていて、やはり人とのつながりがきっかけになっています。

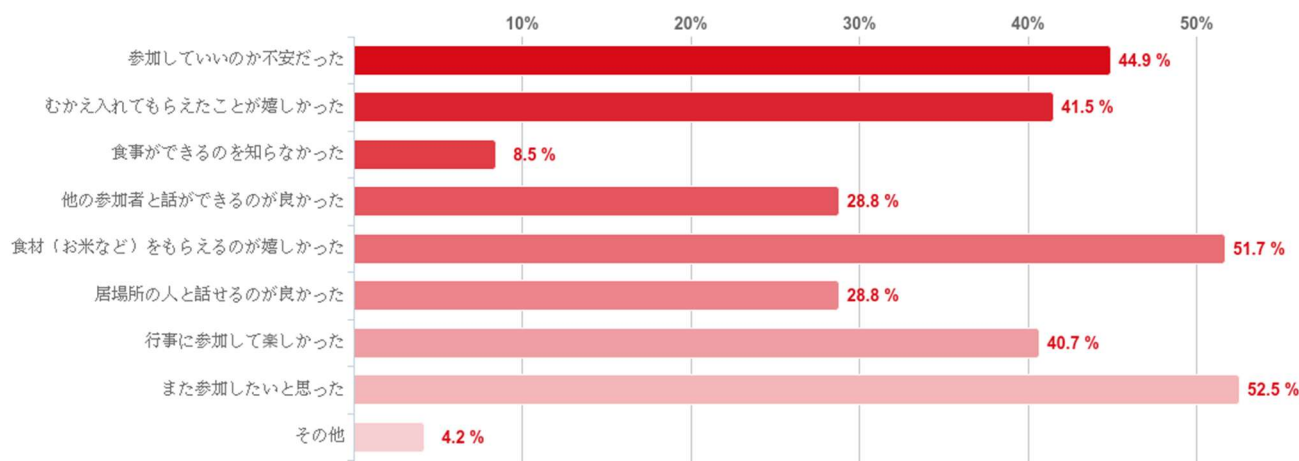
運営者へのアンケートでも多くでているのが、人とのつながりが増えること自体が、「いばしょ」の価値であり、本質ということです。したがって、初めての利用者が最初に「いばしょ」を知るきっかけも、「人とのつながり」であることがとても大切だと考えています。

Q3)初めて居場所に行ってからどれくらいの期間になりますか？(回答数:118)



初めての利用者、または半年以内の利用者は32%であり、1年以上の利用者が68%を占めています。運営者へのアンケートでも多く出ていますが、運営者が利用者に寄り添った相談役になることにより、利用者は徐々に心を開き、繰り返し利用するようになるというものです。「いばしょ」というものの持続可能性が重要な背景です。

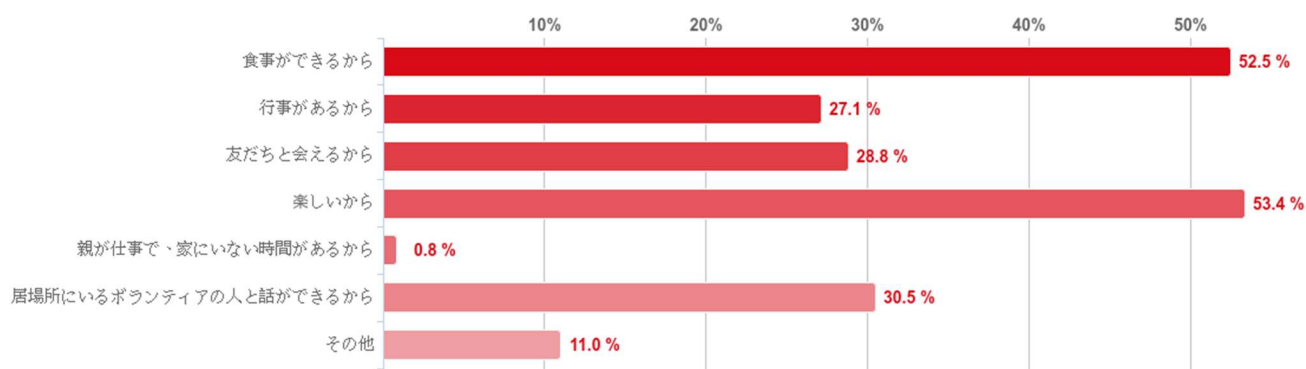
Q4)居場所に初めて行ったときのことを覚えていますか？その時の気持ちに近いものはありますか？(回答数:118) ※複数回答可



やはり半数強の利用者が食料支援に対する喜びを素直に感じています。各「いばしょ」は食料支援以外にも多様な支援活動を実践していますが、食料支援が重要な「つながりの支援ツール」であることが本質です。そのためにも「いばしょ」ネットワーク全体としての食料支援活動が、「いばしょ」運営の基礎を支えることになると考えています。

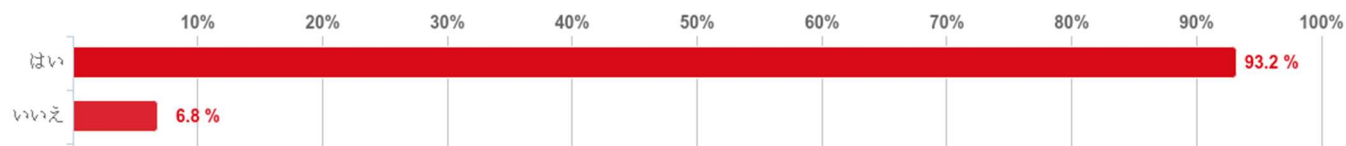
利用者の反応は良いことばかりではありません。「参加していいの不安だった」という回答が45%あります。利用者の半数弱が、最初は不安を感じています。「いばしょ」運営者はそのような利用者に寄り添い、不安を徐々に取り除いてあげることを日々実践しているのが実態です。そのことが、本当に支援が必要な利用者を持続的に支援していくためにとても大切な基礎だと考えています。

Q5)居場所に行くようになったのはなぜですか？(回答数:118)



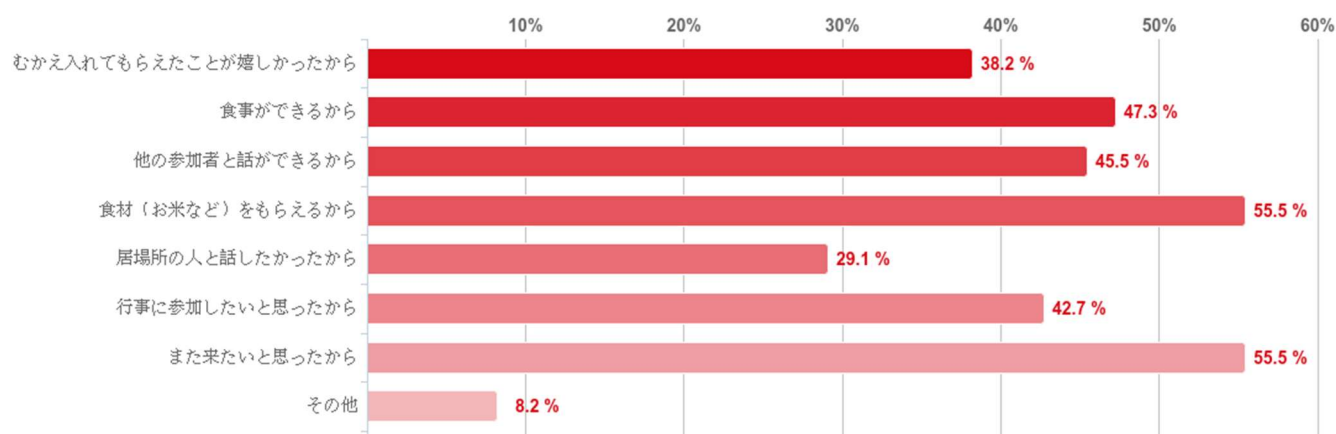
半数強の利用者の「いばしょ」へ来るようになった理由は、「食事ができるから」と「楽しいから」になっています。やはりここでも「食事」が「いばしょ」における「つながりのツール」となっています。しかもその食事は、利用者にとっては、みんなと食べることの楽しさを伴うものであることがとても大切なことが分かります。

Q6)同じ居場所を2回以上利用していますか？(回答数:118)



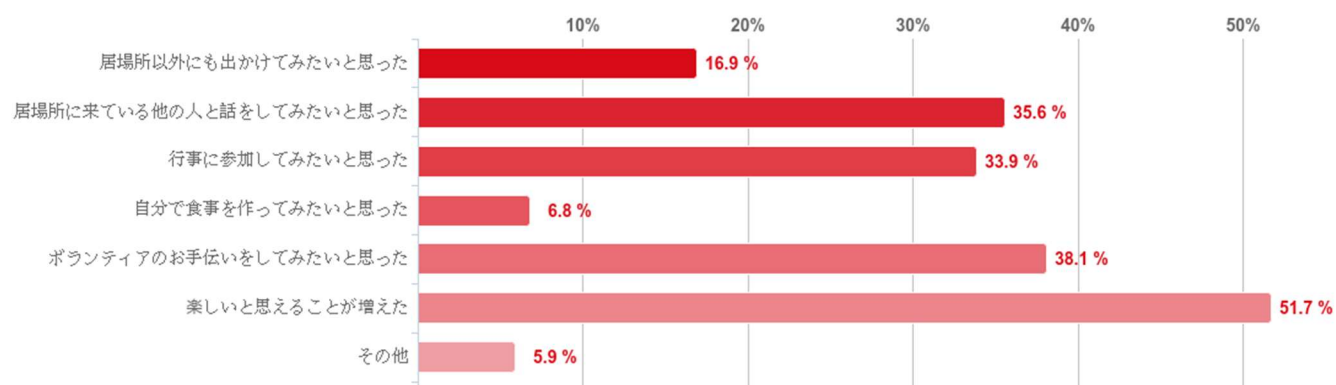
ほとんどの「いばしょ」の利用者は2回以上の利用になっています。あらゆる利用者にとって、「また行きたい」と思える場所であることが、「いばしょ」の本質ではないでしょうか。

Q7)同じ居場所を何回か利用している人に聞きます。理由があれば教えてください。(回答数:110)



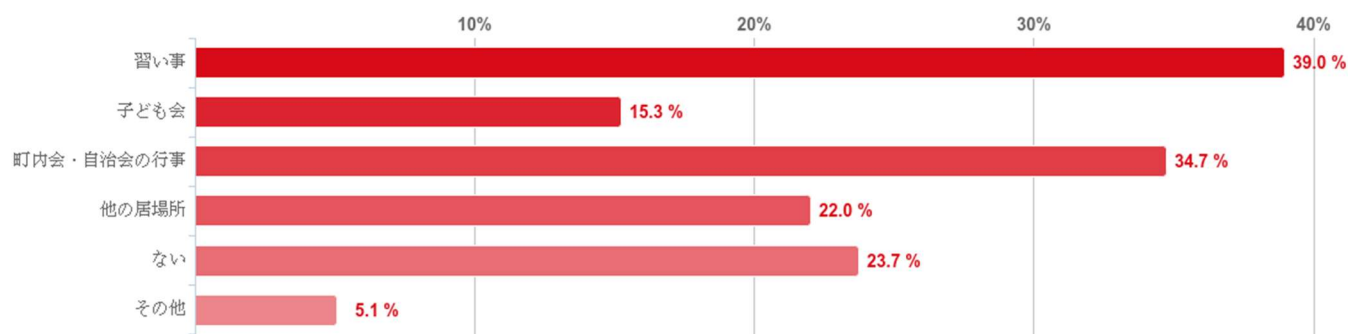
利用者が「また行きたい」と思う理由はさまざまで、一人ひとり違います。共通的に言えることは、単に「食事ができるから」というだけではなく、自分を受け入れてくれ、話をしてくれ、認めてくれる人との出会いの場所ということです。「いばしょ」が「いばしょ」たる大切な要素です。

Q8)居場所を利用することで、自分が変わったと思うことがありますか？あてはまるものがあれば選んでください。(回答数:118)

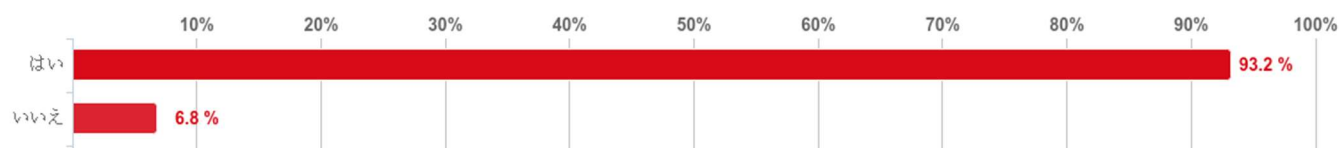


利用者の半数が「楽しいと思えることが増えた」と答えています。やはり「いばしょ」へ来る利用者は、何らかの心の問題を抱えながら「いばしょ」へ来ているということを物語っているのではないのでしょうか。しかも利用者の心の状態や不安は一人ひとり違います。そのような利用者の一人ひとりに寄り添った「いばしょ」での人との出会いが、利用者の心を前向きに変えていけることの証ではないのでしょうか。

Q9)利用している居場所以外に行っている場所がありますか。(回答数:118)



Q10)困ったときに相談できる人はいますか？(回答数:118)



困った時に相談できる人がいないと答えた利用者は7%弱です。これを多いとみるか、少ないとみるかはさまざまですが、相談をできる人がいなくて悩んでいる利用者が「いばしょ」へ来ているというのも事実です。各「いばしょ」では、そのような利用者に「気がつき」、「話を聞いてあげ」、「寄り添ってあげる」という地道な活動をしているのが実態です。

Q11) 前問で「はい」と答えた人へ。それはどのような人ですか？思いつく人を書いてください。（名前は書かなくてもいいです）※複数回答可

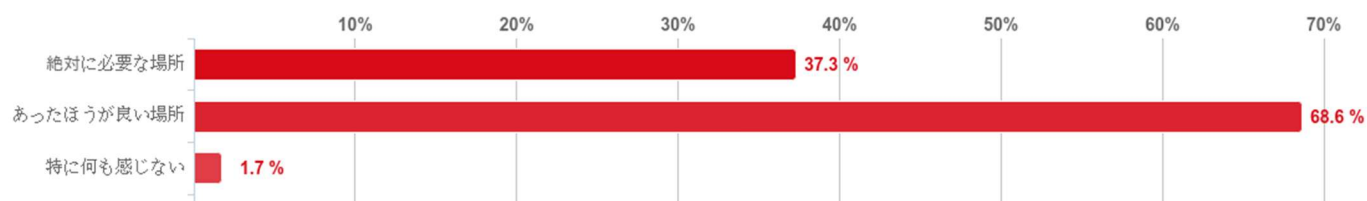
分類	割合
家族	79.6%
友人・知人	64.3%
学校・こども園等の先生	4.1%
近所の人	5.1%
カウンセラー	5.1%
仕事の同僚	8.2%
その他※	11.2%

※その他回答の具体的内容

こども食堂、居場所の先生、民生委員、フリースクールのスタッフ、メンター、有識者、担当医、役所、ボランティア仲間、市民団体を運営している相棒、支援センターの先生

「いばしょ」の利用者の多くは家族や友達と相談ができる普通の人達で、決して困窮家庭の子ども達しか来ないというものではありません。しかしながらQ10にあるように、相談すらできない子ども達も一定数来ています。その子ども達の相談相手が、上記質問の「その他」に入っている子ども食堂を中心とした人達です。「いばしょ」の役割は、そのような利用者に寄り添い、話を聞いてあげられる人が、そこにいる場所ということではないでしょうか。

Q12)あなたにとって「居場所」とはどういう場所ですか？(回答数:118)



ほぼ 98%の利用者が、自分にとって「いばしょ」は「必要な場所」、「あったほうが良い場所」と答えています。「いばしょ」の多様性と利用者の「個別事情性」のマッチングの中で、これだけの利用者がポジティブな回答をしているということは、「いばしょ」の「共通的な価値」が提供されつづけているからだと思います。その「共通的な価値」とは、やはり「多様な人とのつながり」ではないでしょうか。

Q13)皆さんが利用している「居場所」について思っていることがあれば自由に書いてください。

(回答数:54)

※自由記述回答は内容を精査して〈好評〉〈感謝〉〈要望〉〈料理・食事〉〈設備・運営〉〈催し物・活動〉〈人間関係〉〈居場所・空間〉に分類した。

以下は自由記述での回答をそのまま記載しています。なおそれぞれの回答について、私たちの分類基準で分類した情報を加えています。「いばしょ」の利用者の生の声です。今後の「いばしょ」支援について考えるインプットとなるとても貴重な情報です。ありがとうございました。

- いつもありがとうございます。(感謝)
- 食材や何もかも高騰してるので助かります。(感謝)
- 行くようになって家事の負担も少し減り、あまり頑張らないでいいかなあと考えるようになりました。知り合いの人に会う機会も多く安心して通えています。(好評)
- 初めての時は行っていいのか不安でしたが、スタッフのみなさんが暖かく迎えてくれて、ホッとしたのが印象的でした。子供も楽しかったととても喜んでいました。いろいろと家庭の面でも助かっているのでもって感謝しています。ありがとうございます。(感謝)
- 利用者もスタッフもボランティアも 当事者となって負担を減らして運営を継続できたらいいなと思います。(設備・運営)
- 居場所の回数が多いと良い。(要望)
- 子どもが現在不登校で大勢の人がいる場所には出かけづらく、急に外出を嫌がって予定をドタキャンすることがあり、約束や予約をする用事が作りづらい状況です。子ども食堂はそこに行けば必ず知っているスタッフさんや利用者がおり、基本的なルールさえ守れば各々が好きなことをして過ごせるので子どもにとって第二のわが家の様な感じでリラックスしてすごせる貴重な場所になっています。親子で家にいるとどうしても小言が増えて煮詰まってしまうので、子ども慣れしているボランティアさんが相手をしてくれる居場所は安心して子育て世代の保護者同士で情報交換や会話も楽しめ大変ありがたいです。気になるのは出入りが自由な分、様々な人が利用するので多少価値観の違いに戸惑う場面もあります。そこはスタッフさんが注意を向けてもらえるとトラブルが起きにくい様に感じます。最近子ども食堂を聞くようになりましたがどうしても資金不足が心配なので運営を知る機会や理解を深めてもらい、少しでも利用者や協力する企業や人が増加していくような工夫が必然だと思います。(感謝)(要望)
- 友達と遊ぶ。(人間関係)
- 物価高のなか、ずっと継続的に低価格で場所と食事を提供してくれているのでありがたい。(感謝)
- もっと近場で開催されると通いやすいなと思います。運営する方々の大変さもわかるので、感謝している。いずれはサポートする側になれたらなと思っています。(感謝)(要望)
- 感謝してます。(感謝)
- 皆優しくて心が温まる。(好評)
- みなさんがとてもあたたかく迎えてくれて、家族みんなで参加できるので楽しいし嬉しいです！(好評)
- 子ども達が学年やクラスや性別関係なく楽しそうに話したり遊んだりしてる居場所があるのは嬉しいです。(好評)
- ある程度収入があっても参加しても良いのか？という思いはあります。(分類不能)
- 色々なモチベーションの人が集まって、居場所が継続されています。ありがとうございます。行政の大きな期待を感じますが、その割に援助は薄いと言うのが印象です。もっと、取り組みやすい環境のなればいいですね。(感謝)(要望)
- ボランティアの人がニコニコと明るく受け入れてくれるのでありがたい。こどもたちが笑顔で美味しいごはんを食べ、仲良く遊んでいる素敵な場所と時間。普段、家事や仕事に追われてどこにも連れて行ってあげられないけど、こどもたちの「あー！楽しかったー！おいしかったね！またいこうね！！」が聞ける場所です。(好評)
- 出される食事を子供が残すため、申し訳なくて行くのをやめた。子供が食べやすい、学校給食に似た献立なら参加者が増えると思う。(要望)

- 行くと楽しくて、みんなでワイワイできる場所。(好評)
- 家に引き籠もらずに、いろいろな人と話をすることはいいと思います。(好評)(人間関係)
- 温かく誰でも迎え入れてくれる雰囲気がいい。古着交換できる取り組みもいいと思う。(好評)(要望)
- 物価高騰の中、食品をいただけるのありがたい。(感謝)
- 年齢関係なく、普段は会えない人たちと会える楽しい場所。(好評)(人間関係)
- 様々な生活についての相談を聞いてくださることが救いになっています。行政の支援を受ける際には審査が必要で時間がかかり、審査が通らなかった時には支援を受ける事ができない。それが無ければ生きていくことが出来ないと思っていた時だったので、食糧支援をはじめ、相談を聞いてくださり本当に助かっています。ありがとうございます。(感謝)
- もっと必要な人に知ってもらいたい。楽しみの一つになればいいし、一人じゃないと思える場所になればいいと思う。(要望)
- 赤ちゃんからお年寄りまで様々な年代の人とお話しできて楽しいし、勉強になることもたくさんかるから、素敵な場所だと思います。(好評)(人間関係)
- 上の子の時は本当に無知で、支援センターもいけなかったし子供食堂も知らなかったです。下の子が来てやっと赤ちゃんサロンも行けてるので、生きがいになりました。(感謝)
- 場所の提供から食事の提供などお世話いただいている皆さんに感謝しています。(感謝)
- 暖かくて楽しい場所。(好評)
- 心が軽くなるような所。(好評)
- 居心地のよい場。(好評)
- 食材を無料で提供してくれたり、ご飯を栄養のあるもので作って下さったり本当に助かります。シングルマザーでフルで働いているので、平日もインスタントラーメンになってしまうこともあります。子供達の健康が心配なのでとてもありがたいです。他のママさんに習い事とか小学校の事など質問させてもらっています。保育園では他の保護者に会ってもみんな仕事をしていて忙しい方ばかりなので、ゆっくり会話する時間は取れません。いつもボランティアの方に感謝しております。(感謝)(料理・食事)(人間関係)
- もっとオープンに誰でも利用出来るようになると良いですね。支援者も参加者も、少なからず世間の目を気にして敬遠しがちな気がします。自分も偏見を持っていて近寄りがたかったのですが、皆さん笑顔で楽しそうに活動してるので、とても嬉しい気持ちです。今後も支援を続けさせてもらおうと思います。(要望)(好評)
- まだ居場所を本当に必要としている人に、どう知らせればいいのか？居場所のイメージが可哀想な人が来る所という偏見があると思う。楽しくて居心地のいい所と知って欲しい。(居場所・空間)
- 優しいボランティアさん、主催者さんにいつも優しく声をかけていただき有難いです。(感謝)
- みんなが気楽に来られて、欲しかったものがもらえて、楽しくすごせて、また来たいと思える場所であることが、とてもありがたいです。現在、同世代の繋がりはまあまあありますが、縦の繋がり、つまり異世代との繋がりが希薄です。こういうコミュニティの場所は必要で、年上の方からいろいろ知恵をもらい、老人は、若い人や子供たちからエネルギーをいただく、絶好な場所です。(感謝)(人間関係)
- 皆、明るくて楽しい雰囲気です。(好評)
- 自分も4月から子ども食堂を立ち上げることになったが、とても親切に色々なことを教えてもらえとても嬉しかった。(感謝)
- こんなに貧しくなった世の中で、満足に食材を買えない子供がいる親として悲しくなりますが、このような素敵な事を企画してくれている居場所の方々は本当に凄いです。市や国は何をやっているんでしょうか。この方々に感謝すべきです。(感謝)
- 子供達が楽しそう。みなさん明るく話しかけてくれます。(好評)
- 皆さん明るく元気な方が多く、行くと元気がもらえます。明るく話しかけてもらえると、気持ちが優しくなります。(好評)
- たくさんの人の力で利用出来る場所。暖かい場所。自分がいて良い場所。次につながる場所。(好評)
- 孤独を感じない場所。近くにあってありがたいです。(感謝)
- だんだん若いスタッフさんが増えて、活気が出てきた。(好評)(運営)
- 地域のコミュニティとしてもっと広がっていくと良いと思います。ボランティアをすることの大切さも広がってい

くと良いと思います。(要望)

●いろいろな人と交流ができて良いと思います。(好評)

●参加させて頂きありがとうございます。お子様達の笑顔も沢山拝見でき、とても大切な場所だと思います。開催されておられる方は大変だと思いますが、今後も宜しくお願い致します。(感謝)

●交流の場所で、孤立を回避する場所。(居場所・空間)

●自分らしくいられる場所。(居場所・空間)

●親兄弟に誰でも頼れる環境ではないこと。孤立してる人がいるはずだと思うので、学区を指定されると辛い。

●スタッフの方々がいつもあたたかく、また行きたいと思える場所です。(居場所・空間)

●居場所を知らない人も多くいるようなので、もっと上手くPR 出来るといいなと思いました ポランティアの方には感謝です。(要望)(感謝)

●誰でも気軽に来られる場所であって欲しい。(要望)

●居場所の存在に気づかない人がいる。そこにどうやってアプローチするのか。出来たとしても家族が行くなどと言っているなど、行きたいと思えない人たちへのアプローチはどうする？ということを考えています。

(設備・運営)